

No. 866

入 国 警 備 官

— 神奈川・東京 —

日本を訪れる外人客は観光客を含めて年間約50万人。
更に飛行機のパイロットや、港で上陸する船員をも含めると220万人を越すという。
羽田国際空港や横浜港は混雑するはずである。昭和25年に入国警備官の法的身分が、制定されて以来、全国の空港や、港に配置された彼等は、日本をあらゆる悪の巢の出入から守るために働いてきた。
国情不安定な東南アジアにあって、密出入国者は後を絶たないという。ここ数年不法入国の件数は毎年700件を数える。更に不法残留者となると、その数は計り知れないという。
港に外国からの船が入ると、入国警備官はどんな悪天候であろうと、入国審査と船内サーチに出ていく。入国警備官、彼等は日本を守る影の力となっているのである。

特 急 指 定 券

折からの旧盆を迎えて上野駅は大混雑。
帰省客を満載して列車が次から次へと発車して行きます。
また、恒例のテント村は指定券や着席券を買えなかった人々で一杯「徹夜で並んでも指定券が買えない」という人々がかかなりの数にのぼっています。
幸運にも一枚の指定券を手に入れた人はどの様な方法で買い求めたのでしょうか。その多くは、交通公社か、駅の窓口で並んでいます。しかし、それ以外の方法で、手に入れた人も決して少なくはないようです。
はたしてそのようなことが実際にあるのでしょうか……。